

「岩手県多文化共生推進プラン(2025～2029)」素案の概要

1 趣旨

外国人労働者をはじめとする外国人県民等の増加など、社会情勢の変化等を踏まえ、多文化共生の考え方について広く普及を図るとともに、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めようとするもの。

2 本県における多文化共生等の現状と課題

(1) 在留外国人数等 (R5.12月末)	合計 10,173人 (R元:8,170人) 国籍構成(%) へトナム26.2、中国15.2、フィリピン14.8 在留資格構成(%) 技能実習34.0、特定技能15.4、永住者19.3 外国人労働者 7,082人 (R5.10月末)
--------------------------	--

(2) 前プラン策定後に生じた社会情勢の変化等(主なもの)

- ア 新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大
オンライン交流の活発化、在住外国人への情報提供の難しさが顕在化 など
- イ 世界との関わりが多様化と深化
震災を契機とした海外との交流継続・拡大、NYタイムズ、本県出身アスリートの活躍 など
- ウ 外国人の受入機会の増加
育成就労制度創設に向けた法改正、外国人観光客の増加、ハロウ安比校の開校 など
- エ グローカル人材等の育成の取組
小学校からの英語授業等の導入、海外派遣事業への応募者の増加 など

(3) これまでの取組成果と主な課題

施策の方向1 地域に貢献する人材の育成と定着

- (地域の国際化に貢献する人材の育成)
- ・ 高校生の海外派遣研修等
- (産業の国際化に貢献する人材の育成)
- (外国人留学生の定着)
- ・ 企業訪問、キャリアフェア、インターンシップ等
- (多言語により地域で外国人県民等の生活を支える人材の育成)
- ・ 災害多言語サポーターの育成等

施策の方向2 共に生活できる地域づくり

- (相談・情報提供体制の充実・強化)
- ・ 外国人相談支援センターの相談対応等
- (防災・医療支援体制の構築支援)
- (日本語学習の支援)
- ・ 日本語教室開設支援、オンライン日本語講座等
- (外国人県民等が活躍できる地域での場づくり)
- ・ 多文化共生セミナー、ワークショップ等

施策の方向3 多様な文化の理解促進

- (外国人県民等である児童・生徒への対応)
- (多文化共生に関する啓発)
- (交流機会・つながりづくり)
- ・ 外国文化紹介、技能実習生との交流機会等

施策の方向4 ILCプロジェクトへの対応

- (研究開発を目指す人材の育成)
- ・ ILCモデル校の指定、科学・工学コンテスト等
- (国際性豊かで便利な暮らしやすいコミュニティの形成)

今後の主な課題(新たな視点・強化すべき視点)

- グローカル人材(日本人側)の育成
 - ・ オンラインを活用した交流
 - 労働者を中心とした外国人の増加を踏まえ、外国人材の受入・定着支援
 - 多言語による支援人材の育成に加え、多国籍化を踏まえ、多様な手法によるコミュニケーション促進
 - ・ 希少言語への対応(やさしい日本語、ICT、翻訳アプリ等の活用促進)
 - 外国人の増加・多国籍化を踏まえ、
 - ・ 希少言語への対応(やさしい日本語、ICT、翻訳アプリ等の活用促進)
 - ・ より効果的な情報提供(SNS、行政情報の多様な入手経路等)
 - ・ 相談・情報提供体制の充実(幅広い機関との連携、キーパーソンの活用)
 - 外国人県民等との協働による地域づくり
-
- お互いの多様性を理解・尊重する認識
 - ・ 啓発・交流行事への参加者層の拡大
 - ・ やさしい日本語の普及促進
 - 世界との関わりが多様化や深化を踏まえ、海外在住の岩手ゆかりの方々とのつながりづくり
-
- ILCを担う人材の育成

《視点》

- ① アンコンシャス・バイアスをなくし、国籍等に関わらず、岩手を支える人材の育成・定着を進める
- ② 外国人県民等がより暮らしやすい地域づくりを進める
- ③ 日本人県民と外国人県民等が協働して継続的に進める
- ④ 県全体で推し進める

5 新プランにおける施策の方向

【施策の方向1】 グローカル人材の育成、外国人材等の受入・定着・活躍促進

【Ⅲ⑩ 地域に貢献する人材育成】 【Ⅵ③① 県内就職の促進、人材確保】等

多文化共生の推進に欠かせないグローバル人材等の育成、外国人留学生や外国人材の受入・定着支援等に取り組みます。

ア グローカル人材の育成

(取組の例) 児童生徒の海外派遣等による海外との相互交流、学生の海外留学の促進、**オンラインを活用した海外との交流**

イ 外国人留学生や外国人材等の受入・定着支援

(取組の例) 留学生や外国人材を対象とした企業説明会、インターンシップ、キャリアフェア等、**育成就労制度の概要や利用可能な事業の情報提供、市町村と連携し、外国人材の受入れに積極的に取組む企業の取組を支援**

【施策の方向2】 共に生活できる地域づくり 【Ⅳ②⑤ 共に生活できる地域づくり】

外国人労働者をはじめとする外国人県民等と共に、安心していきいきと生活できる地域づくりに取り組みます。

ア 相談・情報提供体制の充実・強化

(取組の例) 「いわて外国人県民相談・支援センター」相談支援体制の充実、**やさしい日本語の普及促進、キーパーソンやICTを活用した情報提供体制の整備** 等

イ 防災・医療支援体制の構築支援

(取組の例) 災害発生時を想定した実践的な対応訓練の実施、**ICTを活用した情報提供体制の整備(再掲)**、医療機関の受入態勢整備等

ウ 日本語学習の支援

(取組の例) 日本語教室の開設や運営等の支援、**居住地域に学習環境がない方より多くの学習を求める方向にICTを活用した学習機会の提供** 等

エ 多言語による支援人材の育成や多様な手法によるコミュニケーション促進

(取組の例) 災害時多言語サポーター等の育成・登録や資質向上、**やさしい日本語やICTや翻訳アプリを活用した情報発信、岩手での暮らしに役立つ共通情報をまとめたポータルアプリ** 等

オ 外国人県民等との協働による地域づくり

(取組の例) 市町村や国際交流協会等を対象とする研修会、**外国人県民等と連携したワークショップ等**の開催等

【施策の方向3】 多様性を理解・尊重する共通認識の醸成 【Ⅳ②⑤ 海外の多様な文化の理解】

アンコンシャス・バイアスをなくし、互いの文化や習慣などの多様性を尊重し、同じ地域の担い手として共生していくための理解促進に取り組みます。

ア 外国人県民等である児童・生徒への対応

(取組の例) 受入校教員や市町村担当者等向けの研修会実施、「**岩手県外国人児童生徒等教育指針**」の周知

イ アンコンシャス・バイアスをなくし、多様性を理解・尊重する共通認識の醸成

(取組の例) **やさしい日本語の普及促進(再掲)**、外国文化の紹介や外国人県民等との交流会の実施(**参加者層の裾野拡大**)、国際交流センターの機能の充実 等

ウ 外国人県民等や海外在住の岩手ゆかりの方々との交流機会・つながりづくり

(取組の例) 地域行事等への参加促進、国際理解関係団体等のネットワークづくり・ノウハウ等の共有、**南米の各県人会など岩手ゆかりの方々との相互交流(研修員受入・県民の現地研修等)**、**オンラインを活用した海外との交流(再掲)**

【施策の方向4】 ILCプロジェクトへの対応 【プロジェクト①「ILCプロジェクト」】

ILCを担う人材の育成や外国人研究者と地域住民が共生する多文化コミュニティの形成支援に取り組みます。

ア ILCを担う人材の育成

(取組の例) **著名な研究者と連携した科学・工学コンテスト、企業の技術者向け講習会** 等

イ 国際性豊かで便利な暮らしやすいコミュニティの形成

(取組の例) **外国人研究者や家族の生活支援サービスに係る調査・検討** 等

3 目指す将来像(基本目標)

全ての県民が、お互いの国籍や言語、文化などの多様性を尊重し、多様な人材が育まれ、幸せに暮らすことができる岩手

4 推進体制

- ・ 取組主体(県、市町村、国際交流協会、国際交流団体、企業、大学、学校、日本人県民、外国人県民等、自治会など)が連携、協力し合い、それぞれの役割を果たして取り組む。
- ・ 関連する連携組織(例:地域国際化推進会議、外国人材受入拡大に係る関係機関連絡会議、いわてグローバル人材育成推進協議会等)とも一体となって取り組む。